

## 企画展 伊勢湾・鳥羽の海洋ごみ ～未来へ向けてできるコト～

**会期** 7月18日(土)～11月1日(日) **ところ** 海の博物館 特別展示室

**後援** (一財)伊勢志摩国立公園協会、22世紀奈佐の浜プロジェクト

**協力** 積水化学工業株式会社

海を漂流し、海岸へ漂着する海洋ごみは、深刻な社会問題になっています。伊勢湾に流れ込む海洋ごみは年間で約1万トンあり、そのうち約5千トンが鳥羽に漂着すると言われています。特に桃取町の奈佐の浜だけで約3千トンものごみが堆積します。

鳥羽市は伊勢湾の海流の多くがぶつかる位置にあり、大量に押し寄せる海洋ごみへの対処は喫緊の課題です。それらは海浜部だけでなく、陸部から川などを通して海へ流入し、生態系や景観、漁業などの産業に重大な悪影響を与えています。そして、プラスチックなどの人工物が人体に取り込まれれば、決してよい影響はおよぼさないことでしょう。

本展は、伊勢湾～鳥羽周辺に漂流・漂着する海洋ごみの現状や問題点を明らかにするとともに、ごみの減量や資源・自然の循環、環境保全などについて広く意識を高め、個人・行政・企業など各々の立場からどのような行動をとればよいか、未来へ向かって考えてもらうために企画しました。

### 展示構成

#### ①伊勢湾のごみはどこから来るの?

伊勢湾～鳥羽の海洋ごみの現状や、発生源などについて紹介します。

#### ②分解されないプラスチックごみ

プラスチックを中心に、自然界で容易には分解されない、人工物の海洋ごみ問題を取り上げます。

#### ③22世紀奈佐の浜プロジェクトの取り組み

鳥羽や伊勢湾周辺を中心に、環境問題の啓発や清掃に取り組む22世紀奈佐の浜プロジェクトの活動を紹介します。

#### ④生まれ変わる海のごみ

海洋ごみから姿を変えて利用される、実用品やアート作品を展示します。



#### ⑤海洋ごみ問題のこれから～課題解決のためにできるコト～

プラスチック製品の製造企業にもご協力をいただき、わたしたちがいま、何をできるか、すべきかを探ります。

### 付属イベント/ミュージアムトーク

伊勢湾周辺における海洋ごみの現状に理解を深めつつ、産官学民それぞれの立場から、問題解決のためのヒントを探るトークイベント&展示解説。

**とき** 7月19日(日) 午後1時～3時

**ところ** 海の博物館映像ホール、特別展示室

**定員** 50人 (要事前申込、先着順)

**参加料** 無料 (事前申込者以外は要入館料)

鳥羽市内の小中学生および市内の高校、高等専門学校へ通学しているかたは入館無料です。

(高校生・高等専門学校生は受付にて学生証を提示してください)

**登壇者** 小竹篤氏 (鳥羽市長)、千葉賢氏 (四日市大学環境情報学部客員教授)、近藤朗氏 (22世紀奈佐の浜プロジェクト事務局長)、長谷川遥子氏 (滝高等学校生徒)、積水化学工業株式会社

**ファシリテーター** 平賀大蔵 (鳥羽市立海の博物館 館長)

### 夏の体験イベント

#### ●ウミウシを探せ!

7月18日(土)・8月1日(土)・  
8月29日(土)・9月12日(土)

#### ●干潟の生きものを探そう!

8月2日(日)

#### ●サメが釣れるかも?美味しい さかなと海のモンスターを釣ろう

8月9日(日)

#### ●漂着物の標本づくり体験

8月11日(火・祝)

#### ●干潟でエビとカニを捕まえよう!

8月30日(日)

#### ●貝殻や海藻などを使った クラフト体験

7月25日(土)～8月30日(日)  
(事前申込不要)

※団体予約などにより実施しない日  
もあります。

クラフト体験以外は要事前申込

くわしくは、海の博物館ホーム  
ページまたはSNSにて確認  
してください。